

# 教養会館を貫徹せよ！

すべての学友諸君！ 先日1月20日の、C部長田中戦取／学生部長吉田勝利／全C総選起集会の報告をしていただきたいと思う。

## 全C集会に70名決起す！

商業新聞等で知っている諸君も多いと思うが、昨年12月14日、全学の最高権限とされる評議会において、85年3月吉田良慶が「決定」された。この間、当局は対生らの話し合い要求を無視し、対全学集会には運動隊反導入するなどして斗争の圧殺を謀ってきた。そうした中での、この一方的な「決定」を我々は決して認めない。そして、この「決定」に賛成し廢止化に加担している教養部長渡辺の責任を我々は断乎追及していくだけはならない。その渡辺との因交（公開の場での話し合い）を克ち取るべく、教養生を中心とする約70名の学友が集会に決起した。

まず、主催の我々C団空室アピールで幕がさされるとされた。続いて90時間ハシストを開いて続いている齊藤からの、空腹も何のその力強いアピールがあった。その後、吉田・熊野障自治会、各学部自治会、全学自治会同学会とのアピールが続いたが、注目すべきは、1月13日からの発言であった。このように齊藤争は着実に広まりつつある。（先日の1月18日にIS自連主催の原問題討論会に約100名の学友が集まっている。）

この集会において、調査も話し合いもなく「決定」された在寮期限の不当性や確約を破棄して強引にかけてきている負担区分攻撃の悪と、学生部に追随する渡辺の無責任さが確認され、教養部なら齊藤争へ合流していく強固な隊列が確立した。4時間で因交要求署名は約400集まった。渡辺は原稿距離的にはいった。

## C教授会を包囲室入占めす！

さらに我々50名の教養部生は、2時30分よりE21教室で行われようとしていた教養部教授会に突入し、壇上を占めした。そこでは向と教室壁が、教室の後ろの方にかたまって、ひまとうにしていい。彼らに対し、我々教養部団交裏が、そして吉田慶・熊野障の教養生が、評議会「決定」の不當性、「正常化」の不當性を訴え、同時にその「決定」に参加した教養部長の責任を追及していく。

養生との確認・確約を一方的に破棄し、負担区分を強要し、あぐくの果てには養生・生活破壊までしてきている学生部には、一時の正当性もない。この学生部の言うことをうのみにし、この「決定」に同意した評議員の責任は重要である。我々は彼ら評議員及び教養部長を絶対に許さない。彼らの第三者的立場による言い逃れを絶対に許さず前に立つしかない。

そこで我々は、その場で学生連絡委員の酒井教授に教養部長との因交を申し入れ、学生連絡委員会を土曜日にあるいは遅くとも月曜日に開き教養部長に伝えることを約束させた。しかし、ここでひとつ言っておかなくてはならない。教養部長が我々教養生との話し合いに応じるのは当然のことであり、それを、めざめざ学生連絡委員会などという機関を設け、その話の内容を審議するというのは全く学生を愚弄しているとしか言いようがない。

今回我々は百歩譲って、この委員会を通し「正式」な手続きをふんだ。しかし、この上での委員会で、教養部長には伝えられないといつよい、ひざけた態度に出るのなら、我々は、直接、渡辺を因交の場にひきすり出すであろう。



C部長渡辺は因交に応じろ！！